

福岡県の土地改良

福岡県土地改良事業団体連合会

202
令和6年1月1日

福岡県の土地改良

福岡県土地改良事業団体連合会

202

目次

- 1 謹賀新年
 - 2 新年のご挨拶(高木典雄会長)
 - 3 新年のご挨拶(二階俊博 全国土地改良事業団体連合会会長)
 - 4 新年のご挨拶(進藤金日子 都道府県水土里ネット会長会議顧問・参議院議員)
 - 5 新年のご挨拶(宮崎雅夫 都道府県水土里ネット会長会議顧問・参議院議員)
 - 6 第45回 全国土地改良大会 福井大会
 - 7 農業農村整備の集い
 - 8 農業農村整備事業の予算に関する要望(国)
 - 10 九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会 合同政策提案
 - 12 令和5年度 第3回監事会及び定期監査
九州「農地・水・環境保全」フォーラム in 熊本
 - 13 都道府県土地改良事業団体連合会 ブロック代表事務担当者会議
土地改良事業団体連合会九州協議会 専務理事・常務理事会議
都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議
土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議
 - 14 九州農政局管内各県土地改良区運営基盤強化協議会に係る担当者会議
都道府県土地改良事業団体連合会 ブロック代表事務責任者会議
土地改良区運営基盤強化協議会に関する意見交換会
土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議(臨時)
 - 15 令和5年度 市町村・土地改良区等役職員研修会
 - 16 疎水フォーラム in 常西用水2023
ため池フォーラム in とっとり
土地改良区複式簿記導入巡回指導
 - 17 2023年度 未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展
 - 18 福岡県ため池管理保全支援センター ～取組状況～
 - 19 土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内
土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内
 - 20 非補助農業基盤整備資金のご案内
土地改良事業に関する助言及び指導
財務管理強化相談等のご案内
- 【裏表紙】** 第46回 全国土地改良大会(千葉大会)
九州ロゴマークのご案内

【発行所】 福岡県土地改良事業団体連合会
福岡市博多区千代4-4-28
TEL 092-642-1881

【編集】 総務課

【表紙】 第18回
「水土里のふるさと写真コンテスト」
受賞作品の一部を掲載しております

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

本県農業農村の振興発展のため精進して参りますので、
より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。
皆様にとってより良き年でありますことをご祈念申し上げます。

令和6年元旦



福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

会長理事	高木 典雄 (うきは市長)
副会長理事	田頭喜久己 (筑前町長)
副会長理事	田辺 一城 (古賀市長)
専務理事	半田 英彦 (学識経験者)
理事	重吉俊二郎 (学識経験者)
理事	鷹巢 礼子 (学識経験者)
理事	小金丸義文 (糸島市志摩土地改良区理事長)
理事	金子 健次 (柳川市長)
理事	西田 正治 (筑後市長)
理事	倉重 良一 (大川市長)
理事	古野 修 (遠賀町長)
理事	黒土 孝司 (福智町長)
理事	新川 久三 (築上町長)
理事	内田 直志 (みやこ町長)
総括監事	赤間 幸弘 (嘉麻市長)
監事	緒方 岩美 (筑後川土地改良区理事長)
監事	馬場 幸男 (三池干拓土地改良区理事長)
	外職員一同



新年のご挨拶

福岡県土地改良事業団体連合会
(水土里ネット福岡)

会長 たか き 高木 のり お 典雄

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

平素から当会の業務運営に格段のご高配を賜りますとともに農業農村整備事業の推進に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

農業・農村を取り巻く状況は、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等による燃料価格の高騰と、これに伴う建設資材価格の上昇や建設事業者等の構造的賃上げへの対応等、厳しさを増しています。さらに、電気料金や農業資材価格の上昇は、農業従事者や用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっています。

農村地域においては、過疎化や農業従事者の高齢化に伴い、農地・農業用施設の保全管理に支障をきたし、頻発する集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業水利施設等に甚大な被害を及ぼしており、健全な農業・農村の保全への影響が懸念されています。

このような中、国においては、農政の根幹である「食料・農業・農村基本法」について、世界的な食料情勢や気候変動等の今日的な課題に対応していくため、制定後約20年を経て初めて、総合的な検証が行われ、見直しに向けた検討が進められています。

このため、農業用施設を保全管理し、公共的な役割を果たしている土地改良区の役割の重要性を基本法に明記することや、防災・減災対策の強化を追加することなどを要望してきたところであり、今後、基本法の見直しに当たっては、農業農村整備関係の施策の充実・強化を働きかけていくことにしています。

また、昨年末には令和5年度の補正予算と令和6年度の農林水産予算の概算決定がなされ、農業農村整備事業関係予算は全体で6,240億円、特に当初予算は4,463億円と前年を上回る予算が確保されました。これも会員の皆様のご理解、ご協力の賜物と深く感謝しております。

当会といたしましても、国の施策に基づき、農地の大区画化・汎用化等の農業生産基盤の整備を効果的に実施し、担い手への農地の集積・集約化を加速するとともに、土地改良区の運営基盤の強化に向けた土地改良施設の維持管理の省エネルギー化に積極的に取り組むことで、今後も会員の皆様の要望に応えられるよう、役職員が一丸となり業務運営を行って参る所存であります。

最後になりますが、新しい年が良い年になりますようお願いとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。



新年に当たって

全国土地改良事業団体連合会

会長 ^{にかい} 二階 ^{としひろ} 俊博

令和6年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。昨年は、国内では新型コロナウイルス禍が一段落する一方、ロシアによるウクライナ侵略に加え、中東においても軍事衝突が起こるなど、国際的な混乱が続く年となりました。

国内においては、農業者の高齢化や減少が進み、農地や農業用水の管理に支障が生じているほか、資材価格と電力料金の高騰が土地改良区の運営を圧迫しています。

このような情勢の中、命を支える食料の確保は、後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の強化は、国家の最重要課題とされ、食料・農業・農村基本法の見直しにおける大きなテーマとして議論されています。

我々は、食料安全保障の確立の観点からも、食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければなりません。

令和6年度農業農村整備事業関係予算につきましては、全国の関係者の皆様の熱意ある要請活動の結果、政府予算案において、4,463億円を確保することができました。令和5年度補正予算を含めると昨年度を上回る6,240億円となります。

御尽力いただいた関係各位に心から御礼を申し上げます。

他方、第五次男女共同参画基本計画や土地改良長期計画においても令和7年度までに土地改良区及び土地改良区連合の女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標とされており、残された期間は2年余りとなります。

将来の土地改良組織の体制強化・発展のために女性の参画を積極的に進めていかなければなりません。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

私は、本会の会長に就任以来、「闘う土地改良」を旗印に組織一体となって闘ってまいりました。土地改良の代表として進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員が「車の両輪」となって、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。皆さんの声を国会に届けるためにも、お二人の活動の支援をお願いいたします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。男女ともに一致団結して、更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域において更に農業・農村が活力を得て、一層発展しますよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げます、私の新年の御挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 しん どう 進藤 かね ひ こ 金日子

新年、明けましておめでとうございます。福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、国民の生活も平穏を取り戻しつつあります。一方、ロシアのウクライナへの侵略は昨年も収束せず、10月にはイスラエルとパレスチナの紛争も勃発しました。こうした状況下において、エネルギー価格、小麦・とうもろこし等の穀物価格、飼料価格や肥料価格、資材価格等も概して高止まりの傾向にあり、物価上昇が国民生活を圧迫しています。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して少数のメンバーで議論を重ねました。昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行うとともに、「食料安全保障強化政策大綱」の改定に当たって提言内容が反映されました。この大綱が本年の通常国会に提出される食料・農業・農村基本法改正案や関連法案、予算制度につながってまいります。

提言は、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶

都道府県水土里ネット会長会議顧問

参議院議員 みやざき 宮崎 まさお 雅夫

輝かしい初春を迎え、福岡県土地改良事業団体連合会の会員各位ならびに関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

近年の異常な気象状況の中で昨年も、線状降水帯の発生など、梅雨前線の停滞に伴う被害や連続する台風被害などにより、広い範囲で強風、湛水の被害、土砂災害などが発生しました。また夏場の高温被害や、渇水による水源の枯渇など農業用水が安定供給されない事態もございました。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理並びに厳しい状況の中で土地改良区の運営にご尽力いただいておりますことに敬意を表しますとともに、旧年中は、私の活動に対し多大なるご支援とご指導を賜りましたことに衷心より感謝申し上げます。

さて、私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、農林水産大臣政務官を勤めさせていただいた経験をもとに、特に昨年は、私が現場でお聞きした皆様の声を進藤金日子議員とも連携しながら、国会等で発信し、皆様方からお受けした、たくさんのご要望等に対し、それぞれの地域の課題解決等に向け、全力で努力させていただきました。これらご要請を含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年第二次補正予算から100億円アップの1,777億円(食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円)を確保できました。この中には、皆様方から強いご要望があった土地改良施設にかかる電力料金の高騰に対し、増嵩分の7割を支援する制度の継続も含まれています。また、令和6年度当初予算の概算額としては、前年を上回る4,463億円が計上され、総額6,240億円となる見込みとなりました。参議院予算委員会の理事として、これから行われる通常国会で、早期成立に向けて尽力していきます。

また、今通常国会では、四半世紀ぶりに「農政の憲法」と言われる食料・農業・農村基本法の改正を行う予定ですが、カロリーベースで6割超を輸入に頼る我が国の食料事情にあって、食料安全保障のあり方や環境に配慮した農業・食品産業の推進、人口減少社会での食料供給基盤の強化についてしっかり議論を進め基本法に位置付けていく必要があります。さらに国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含めて、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営強化を推進していくことが重要です。

私も、昨年還暦を迎えました。引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、これまでにも増して現場主義に徹し、現場や地域の課題をしっかりと伺いして皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいりたい決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、福岡県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申し上げ私の新年の挨拶とさせていただきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



第45回 全国土地改良大会 福井大会

日程:令和5年10月11日(水)

場所:サンドーム福井

第45回全国土地改良大会は、“「水土里(みどり)」がある「幸福(しあわせ)」がある「笑顔」がある～ふくいで語る土地改良の未来～」のスローガンのもと福井県にて開催されました。

式典では、水土里ネット福井の山崎会長の開会あいさつを始め、全土連の二階会長の代読で義経副会長による主催者あいさつが行われ、地元開催県の杉本福井県知事を始め、山田越前市長、佐々木鯖江市長からは歓迎のことばをいただき、武村農林水産副大臣を始め、福井県選出国会議員の稲田衆議院議員、都道府県土地改進黨業団体連合会会長会議顧問の進藤、宮崎両参議院議員からそれぞれ来賓の祝辞が述べられました。

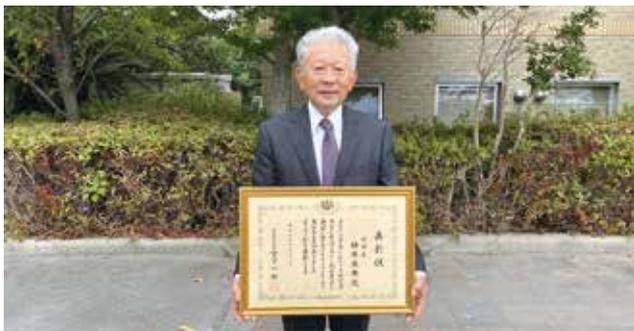
土地改進黨業功績者表彰では、山川地区土地改良区理事長の柿原廣典氏が農林水産大臣表彰を、糸島市二丈土地改良区理事長の重正善氏が全国土地改進黨業団体連合会会長表彰を受賞されました。



開会挨拶(山崎正昭水土里ネット福井会長)



来賓祝辞(武村展英農林水産副大臣)



農林水産大臣表彰
山川地区土地改良区理事長
柿原廣典氏



全国土地改進黨業団体連合会会長表彰
糸島市二丈土地改良区理事長
重正善氏

大会宣言

“越山若水” 私たちが生まれ育った福井県の豊かな自然を表す言葉です。

「越山」は、越前の緑豊かな山々を「若水」は、若狭の海へとつながる溪流、水の美しさを表しています。この豊かな自然の中で、福井県の農業は、古くから稲作を中心に発展してきました。

農地の大部分が水田として利用されており、典型的な水田単作地帯のなかで、「集落の農地は集落で守る。」という集落の強い結束力を背景に共同で営農を行う「集落営農」が定着してきました。現在では、組織の法人化や大規模経営へと発展するケースも見られます。

また、先人たちは水田における労働生産性の向上を図るため、圃場の大区画化や汎用化、農業用排水路の整備など、土地改進黨業を強力に推進し、効率的な営農の礎を築いてきました。ここ福井では、福井生まれの「コシヒカリ」や「いちほまれ」などの良食味米をはじめ、六条大麦や大豆、そばの生産が盛んに行われています。

全国的に農業従事者の高齢化、担い手不足が深刻化し、耕作放棄地が増加している状況ですが、「農は国の基(もとい)」です。スマート農業など、先端技術の活用や高収益作物の導入、プレミアムブランドの創出によって「儲かる農業」を実現させ、若者が憧れる産業にすること。そして、地域内外の人が交流する賑わいのある農村づくりに取り組むことが重要です。

私たちは、農業をはじめ、食や環境・文化など、幅広い「農」を学んでいます。「農」の未来を描き、持続可能な食料生産に関わる技術力を体得し、「農の新時代」に対応できる力を養うことで、今後の新たな「農」の展開と「農村」の活性化を目指します。

そして、その実現のためには、農業生産の基盤となる水(みず)・土(つち)・里(さと)を私たちが受け継ぎ、より生産力を高める農地の整備を進めるとともに、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や頻発する自然災害への対策を進めながら、次世代に引き継いでいくことが責務であると考えています。

本日、「水土里」がある「幸福」がある「笑顔」があるのスローガンのもと、未来の土地改良について語り、夢のある農業と賑わいのある農村の創出を目指すことをここ福井の地で高らかに宣言します。



農業農村整備の集い

令和5年11月7日(火)東京都千代田区平河町の砂防会館別館「シェーンバッハ・サボー」において「農業農村整備の集い」が開催されました。“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”のテーマのもと、宮下農林水産大臣をはじめ農村振興局幹部や衆参両議院の国会議員が多数出席され、全国から約1,100名の土地改良関係者が参集しました。

要請文が提案されると満場一致で採択され、農業農村整備事業の予算確保に向け、出席者全員による「ガンバロウ三唱」が行われ、盛会のうちに終了しました。



進藤会長会議顧問による祝辞



宮崎会長会議顧問による情勢報告

要 請 書

現在、国際社会は、地球規模の異常気象、新型コロナウイルス、ロシアのウクライナ侵略、世界的な物価高騰など、歴史を画するような様々な問題に直面している。

また、我が国の農業・農村も、人口減少の波が都市に先行して強く押し寄せ、農業従事者の高齢化や減少により、農地や農業用水の管理や営農の継続が困難になるなど、様々な問題に直面している。さらに、燃料価格の上昇に伴う電力料金の高騰は、用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっている。

命を支える食料の確保は、国内外の情勢いかにかわらず後回しにできない国民ニーズであり、食料安全保障の確立の観点から、我が国の食料生産を支える農業生産基盤を維持し、国民の不安を解消していかなければならない。

そのためには、食料・農業・農村基本計画、土地改良長期計画及びみどりの食料システム戦略の実現に向け、農地の大区画化・汎用化等の整備とその集積・集約化、スマート農業やGXの展開に向けた基盤整備、農業水利施設等の維持・更新を適時適切に行い、農業を魅力ある産業として担い手に引き継いでいくことが極めて重要である。加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、豪雨や地震が頻発しており、国民の生命と財産を守るためにも、洪水被害防止対策やため池の耐震化などの農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が極めて重要である。

令和4年9月、政府は、農政の根幹である食料・農業・農村基本法について、世界的な食料情勢や、気候変動、海外の食市場の拡大等の今日的な課題に対応していくため、制定後約20年を経て初めて、その見直しに取り組み、令和5年度中の改正案の国会提出も視野に検討を進めている。

土地改良に関する制度については、平成29年、30年、令和4年に土地改良法が改正され、また、令和元年に「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が、令和2年に「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」がそれぞれ施行され、諸課題に対応するための措置の充実が図られてきたところであるが、基本法の検討に合わせて更に必要な見直しや施策の拡充を行い、農業・農村の振興を図っていくことが極めて重要である。

このような状況の中、水土里ネットには、食料の安定供給や農業・農村の多面的機能を発揮させるため、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源を健全な状態で次世代に継承していく責務がある。併せて、国民の生命と財産を守るため、農村地域の防災・減災対策等の国土強靱化を継続的に推進していくことが求められている。このため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を最大限に発揮すべく、引き続きその体制強化を図っていく必要がある。

土地改良関係予算については、「闘う土地改良」の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和4年度第二次補正予算、令和5年度当初予算を合わせて、全国の要望を満たす6,134億円を確保することができた。水土里ネットは、この予算を活用し、農業・農村の発展に向け、国が示した農政の展開方向を踏まえ、男女共同参画を推進しつつ積極的な貢献を果たしていく覚悟である。

全国の水土里ネットは、培ってきた経験と技術を活用し、「闘う土地改良」のスローガンの下、一致団結して、次の事項の実現を図ることを国に要請する。

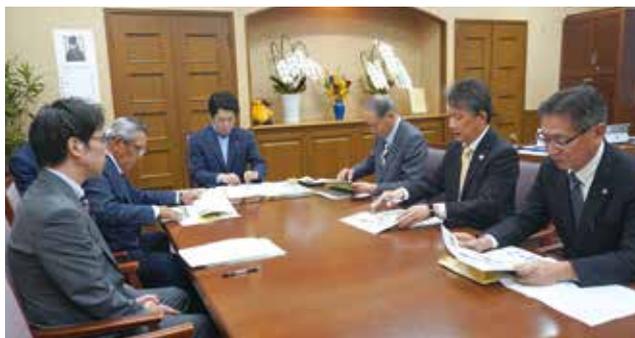
記

- 一 土地改良事業の計画的な推進のため、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 食料・農業・農村基本法の見直しに当たっては、次の観点に留意して必要な規定を盛り込むとともに、関連する制度や事業・支援の一層の充実を図ること。
 - (一) 農業の競争力強化や、国産農産物の増産による輸入農産物からの置換え等を図っていくため、「農地の区画の拡大」や排水改良による「水田の汎用化」が引き続き重要であること。
 - (二) 農業用水を安定的に確保するため、「農業用排水施設の機能の維持増進」が引き続き重要であり、さらに、頻発する突発事故等を踏まえ、「農業生産の基盤の整備」に加えて、農業生産の基盤の保全管理が重要となっていること。
 - (三) 豪雨災害や大規模地震のリスクを踏まえ、農業・農村の防災・減災対策の強化が重要となっていること。
 - (四) 中山間地域等直接支払のみならず、基本法制定後に法定化された多面的機能支払が、農地・農業用水の維持等を図る上で重要な役割を果たしていること。
 - (五) 農業の生産基盤の整備及び保全管理に関する技術の開発及び普及が重要であること。
 - (六) 土地改良区は、食料生産に不可欠な農地・農業用水の整備及び維持管理という公共的役割を果たしており、食料安全保障の強化に向けて、運営体制の強化を図る必要があること。
- 三 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化など、事務手続の効率化等に向けた取組を推進すること。
- 四 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物への転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 五 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進するとともに、燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても安定的な用水供給等が可能となるよう対策を推進すること。
- 六 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設の管理の省力化・高度化等を図る取組を推進すること。
- 七 中小規模の土地改良区を対象とした合併など、土地改良区の運営基盤強化に対する支援を推進すること。
- 八 流域治水の取組推進に当たっては、関係する農業水利施設の管理者や田んぼダムに取り組み農業者に過度な負担や責任が生じないように配慮すること。
- 九 水田活用の直接支払交付金の見直しに伴う水田の畑地化を進めるに当たっては、現場の実情を踏まえ、引き続き必要な措置を講ずること。
- 十 上記事項の推進に当たり、水土里ネットが有する技術、経験などを十分発揮できるよう配慮すること。

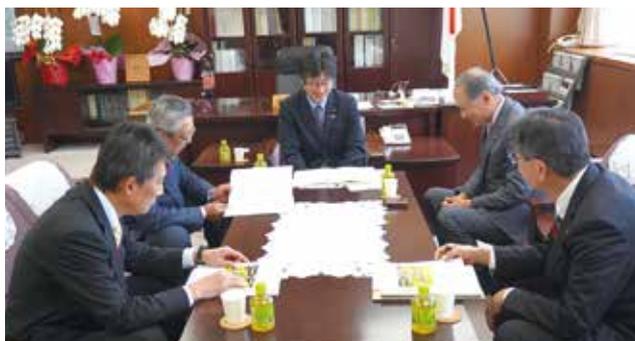
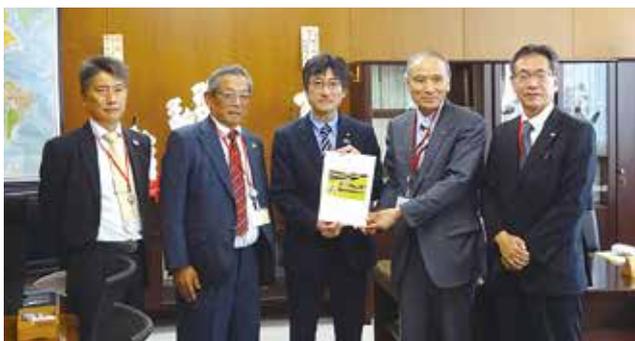


農業農村整備事業の予算に関する要望

福岡県土地改良事業団体連合会と福岡県、福岡県農業農村整備事業推進対策委員会は、令和5年10月24日～25日に、令和6年度農業農村整備事業予算に関する要望活動を行いました。農業農村整備事業予算確保につきましては、佐藤財務大臣政務官や舞立農林水産大臣政務官、長井農村振興局長、青山農村振興局次長、緒方整備部長より予算確保に努めるとの回答を頂きました。



佐藤財務大臣政務官へ要望書の手交及び要望面談



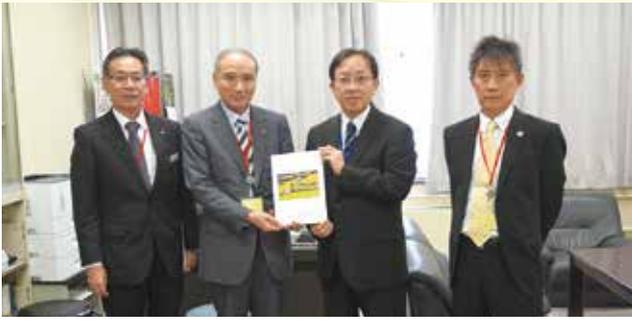
舞立農林水産大臣政務官へ要望書の手交及び要望面談



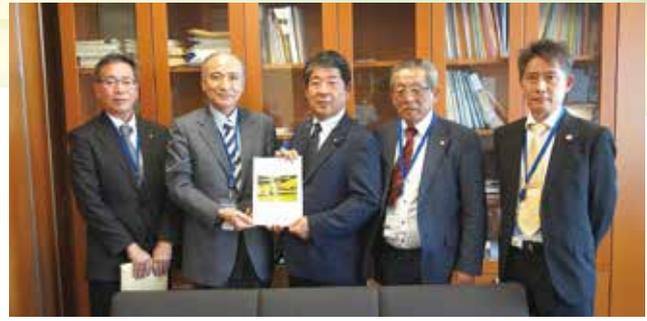
長井農村振興局長へ要望書の手交及び要望面談



青山農村振興局次長へ要望書の手交及び要望面談



緒方整備部長へ要望書の手交



下野六太参議院議員へ要望書の手交



進藤金日子参議院議員へ要請面談



宮崎雅夫参議院議員へ要望書の手交

農業農村整備事業の予算に関する要望書

農業農村整備事業につきましては、日頃より多大なるご指導、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

また、国の農業農村整備事業予算は令和4年度補正予算と令和5年度当初予算を合わせて、6,134億円となっており必要な予算が確保されておりますことに対し心から感謝申し上げます。

農村地域においては、過疎化や農業従事者の高齢化に伴い、農地・農業用施設の保全管理に支障をきたし、頻発する集中豪雨や台風等の自然災害は、農業だけでなく農地やため池を含む農業水利施設等に甚大な被害を及ぼしており、健全な農業・農村の保全への影響が懸念されています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等による燃料価格の高騰と、これに伴う建設資材価格の上昇や建設事業者等の構造的賃上げへの対応等、農業農村整備事業を取り巻く情勢は厳しさを増しています。さらに、電気料金や農業資材価格の上昇は、農業従事者や用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっています。

このような中、国におかれましては、農政の根幹である「食料・農業・農村基本法」について、世界的な食料情勢や気候変動等の今日的な課題に対応していくため、制定後約20年を経て初めて、総合的な検証が行われ、見直しに向けた検討が進められています。

さらに、本年6月に可決された「国土強靱化基本法」の改正を受け、我が国の食料安定供給と農村地域の国土強靱化が求められており、今後は農村地域の有する多面的機能の発揮と生産基盤である農地や農業用水の確保に寄与する農業農村整備事業の役割が益々重要となります。

つきましては、本県の農業・農村の現状をご賢察いただき、農業農村整備事業が安定的かつ効率的に展開できますよう、次の事項をご要望申し上げます。

記

- 一、 農業農村整備事業に係る令和6年度概算要求額の満額確保及び令和5年度補正予算の十分な予算措置
- 一、 頻発する自然災害からの復旧・復興に係る財源の確保並びに国土強靱化対策に必要な財政支援
- 一、 農業水利施設の適切な保全管理に関する支援の強化及び防災重点農業用ため池の防災工事等に係る予算の確保
- 一、 多面的機能支払交付金の必要額の確保及び円滑な活動への支援
- 一、 燃料価格や電力料金が高騰する状況下においても、安定的に用水供給等が可能となるよう土地改良区の運営基盤強化に対するさらなる支援
- 一、 水田の畑地化を進めるに当たっては、土地改良区などの水管理への支障や安易な地区除外が生じないよう必要な措置を講じること

福岡県土地改良事業団体連合会

会長 高木 典雄（うきは市長）

副会長 田頭 喜久己（筑前町長）

副会長 田辺 一城（古賀市長）

福岡県農業農村整備事業推進対策委員会

委員長 松岡 吉寛（両筑土地改良区理事長）

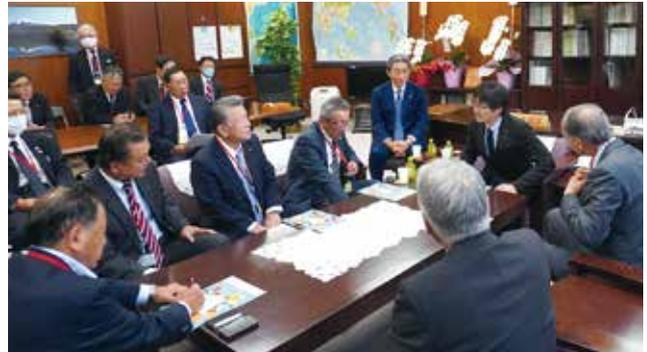
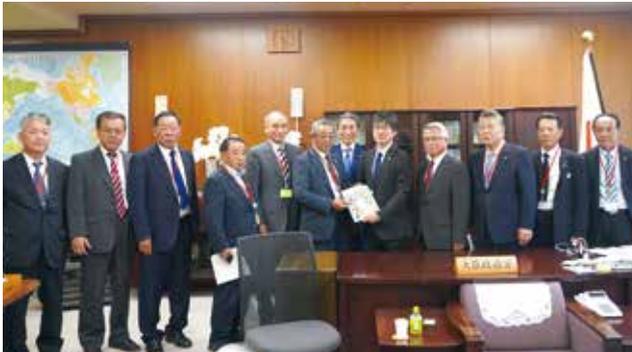
副委員長 月形 祐二（糸島市長）

副委員長 後藤 元秀（豊前市長）



九州農業農村整備事業推進協議会・ 土地改良事業団体連合会九州協議会 合同政策提案

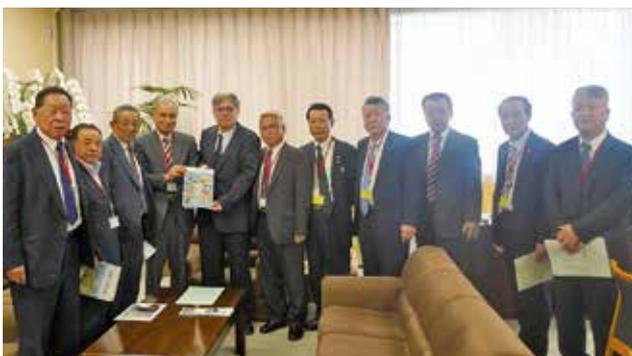
九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会は、令和5年10月23日～24日に財務省、農林水産省、関係国会議員に対して合同要請活動を行いました。



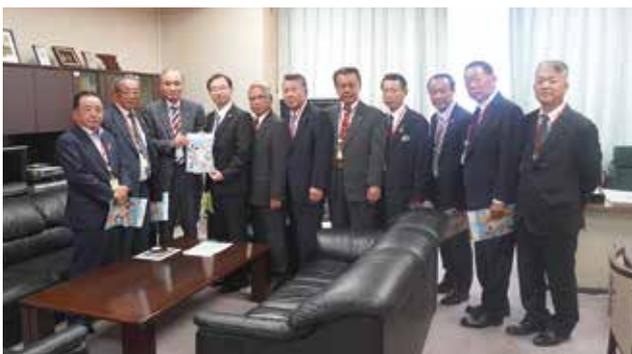
舞立農林水産大臣政務官へ要望書の手交及び面談



坂本自民党副幹事長へ要望書の手交及び面談



長井農村振興局長へ要望書の手交及び面談



青山農村振興局次長へ要望書の手交



緒方整備部長へ要望書の手交



進藤金日子参議院議員へ要望書の手交



宮崎雅夫参議院議員へ要望書の手交

農業農村整備事業に関する要望書 九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進に向けて

九州・沖縄地域の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

九州・沖縄地域の農業・農村は、温暖な気象条件等の地域特性を生かした多種多様な農産物を生産し、国民に安全・安心な食料を安定的に供給するなど、我が国の食料安全保障の確立に重要な役割を担っています。

しかしながら、農業従事者の減少や高齢化に伴う農地の荒廃や鳥獣被害、土地改良施設の管理や営農の継続が困難になるなど、多くの課題が山積しております。また、近年の激甚化する自然災害は、農業や地域振興に深刻な影響を及ぼしており、地域の活力低下が懸念されています。

さらに、円安や、ウクライナ情勢などの国際的問題に伴う燃料価格や電気料金、農業資材の高騰は、農業従事者や用排水機場等を管理する土地改良区にとって死活問題となっています。これに加え、建設資材価格の高騰や建設事業者等の構造的賃上げの対応などにより、農業農村整備事業を取り巻く情勢は厳しさを増しています。

このような中、国におかれましては、農政の根幹である「食料・農業・農村基本法」について、世界的な食料情勢や気候変動、土地改良施設の保全管理等の今日的な課題に対応していくため、制定後約20年を経て初めて、総合的な検証を行い、見直しに向けた検討が進められています。

さらに、「国土強靱化基本法」の改正が本年6月に可決されるなど、我が国の食料安全保障の確立と農村地域の国土強靱化のためには、農村地域の多面的機能の発揮と生産基盤である農地や農業用水の確保に寄与する農業農村整備事業の役割が益々重要となります。このため、両協議会では、これまで培ってきた経験、技術や水土里情報システムなど持てる力を最大限に活用し、多くの課題を解決しながら、各種施策を実現するため、九州・沖縄が一丸となって、農業農村整備事業を強力に推進することとしております。

つきましては、このような九州・沖縄地域の農業・農村の現状をご賢察いただき、農業農村整備事業に関しまして特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

記

- 1 令和6年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保、並びに九州・沖縄地域への重点配分
- 2 事業効果の早期発現に向けた令和5年度補正予算における十分な予算措置
- 3 自然災害からの復旧・復興に対する支援、並びに防災減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の十分な予算措置
- 4 食料・農業・農村基本法の見直しに当たり、食料情勢や気候変動など近年の情勢に応じた規定を盛り込み、関連政策を充実強化
- 5 土地改良区の運営基盤強化への支援、並びに燃料等の高騰対策の継続支援
- 6 多面的機能支払交付金の必要額の予算措置、並びに円滑な活動への支援

九州農業農村整備事業推進協議会

会長 松岡 吉寛 (福岡県推進対策委員会委員長・両筑土地改良区理事長)
 副会長 是永 修治 (大分県推進協議会会長・宇佐市長)
 委員 江里口 秀次 (佐賀県推進協議会会長・小城市長)
 委員 松本 政博 (長崎県推進協議会会長・南島原市長)
 委員 坂田 孝志 (熊本県推進協議会会長・八代平野北部土地改良区理事長)
 委員 中別府 尚文 (宮崎県推進委員会委員長・国富町長)
 委員 本坊 輝雄 (鹿児島県推進協議会会長・南さつま市長)

土地改良事業団体連合会九州協議会

会長 高木 典雄 (福岡県土地改良事業団体連合会会長)
 副会長 義経 賢二 (大分県土地改良事業団体連合会会長)
 田島 健一 (佐賀県土地改良事業団体連合会会長)
 古川 隆三郎 (長崎県土地改良事業団体連合会会長)
 竹崎 一成 (熊本県土地改良事業団体連合会会長)
 宮原 義久 (宮崎県土地改良事業団体連合会会長)
 宮路 高光 (鹿児島県土地改良事業団体連合会会長)
 古謝 景春 (沖縄県土地改良事業団体連合会会長)



令和5年度 第3回監事会及び定期監査

日時:令和5年11月20日(月) 午前10時30分～

場所:水土里ネット福岡 4階役員会議室

本会は、令和5年度の円滑な業務運営を図るため第3回監事会及び定期監査を行いました。監事会では、下記のとおり提出した内容について審議を行い原案どおり承認されました。引き続き行った定期監査では、関係帳簿並びに金銭出納処理は適正に処理されていることが確認されました。

[議事] 第1号議案 令和5年度上半期監査実施内容について



九州「農地・水・環境保全」フォーラム in 熊本

日時:令和5年10月30日(月) 午後1時30分～

場所:熊本県熊本市 熊本城ホール

九州各県で構成された「ふるさと環境フォーラム・九州連絡会」主催の標記フォーラムは、九州農政局や熊本県の後援を頂き「つなげよう地域の絆・ひろげよう水土里(緑)の力」をテーマに九州各県から約1,600名が参集し開催されました。

活動事例発表では、熊本県・福岡県・長崎県・宮崎県の代表の活動組織が発表され、基調講演では、「気候変動・流域治水・「田んぼダム」～〈みんな〉で取組むこと」と題し、京都大学名誉教授・特任教授/熊本大学客員教授の渡邊紹裕氏が講演されました。



基調講演 渡邊紹裕氏



片島水と緑の里保全組合(苅田町)の活動事例発表



都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表 事務担当者会議

日時:令和5年8月31日(木) 午前10時00分～
場所:水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

全国水土里ネット主催の都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務担当者会議がWEBで開催され、農林中央金庫総代選挙等について協議を行いました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 専務理事・常務理事会議

日時:令和5年9月6日(水)～7日(木)
場所:鹿児島県指宿市 指宿こころの宿

土地改良事業団体連合会九州協議会に係る専務理事・常務理事会議が鹿児島県で開催され、各県水土里ネットを取り巻く現状と方向等について協議を行いました。



都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区 事務責任者会議

日時:令和5年9月13日(水) 午後1時30分～
場所:水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

全国水土里ネット主催の都道府県土地改良事業団体連合会・会員土地改良区事務責任者会議がWEBで開催され、令和6年度農業農村整備事業等予算(概算要求)等について協議を行いました。



土地改良事業団体連合会九州協議会 事務責任者会議

日時:令和5年9月20日(水) 午後2時00分～
場所:水土里ネット大分 5階大会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会に係る事務責任者会議が大分県で開催され、要請活動日程及び要望内容について、令和5年度農林水産大臣表彰等推薦地区等について協議を行いました。



九州農政局管内各県土地改良区運営基盤強化協議会に係る担当者会議

日時:令和5年10月11日(水) 午後2時00分～
場所:水土里ネット福岡 4階会議室【WEB会議】

九州農政局主催の九州農政局管内各県土地改良区運営基盤強化協議会に係る担当者会議がWEBで開催され、各県協議会における取組状況の報告等について協議を行いました。



都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議

日時:令和5年11月6日(月) 午後4時00分～
場所:砂防会館別館 2階特別会議室

全国水土里ネット主催の都道府県土地改良事業団体連合会ブロック代表事務責任者会議が東京都で開催され、全土連令和6年度賦課金等について協議を行いました。



土地改良区運営基盤強化協議会に関する意見交換会

日時:令和5年12月12日(火) 午後1時30分～
場所:熊本地方合同庁舎B棟 2階中会議室

九州農政局主催の土地改良区運営基盤強化協議会に関する意見交換会が熊本県で開催され、土地改良区運営基盤強化協議会に関して、食料・農業・農村基本法の見直しの検討等を踏まえて、協議会の活動に関する検証・検討を行うため、全国ブロック単位で意見交換会を行いました。



土地改良事業団体連合会九州協議会事務責任者会議(臨時)

日時:令和5年12月12日(火) 午後3時30分～
場所:九州農政局A棟 第7会議室

土地改良事業団体連合会九州協議会に係る事務責任者会議(臨時)が熊本県で開催され、都道府県水土里ネットブロック代表事務責任者会議の報告等について協議を行いました。





令和5年度 市町村・土地改良区等役職員研修会

日時:令和5年11月29日(水) 午後1時30分～
場所:水土里ネット福岡 5階大会議室

本会は、令和5年度の標記研修会を開催しました。九州農政局の新開課長より「食料・農業・農村基本法」の検証状況等についての講演、全国水土里ネットの勝又所長より「男女共同参画の基本事項・行動計画・全国の事例紹介」についての特別講演を行ったほか、都道府県水土里ネット会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員からのビデオメッセージ紹介などを行いました。



高木会長 主催者挨拶



福岡県農林水産部 中馬次長 来賓挨拶



福岡県 北野基盤整備係長



福岡県 宮崎主任主事



九州農政局 新開土地改良管理課長



水土里ネット福岡 廣瀬農村整備2係長



全国水土里ネット
中央土地改良管理指導センター 勝又所長



都道府県水土里ネット会長会議顧問
宮崎雅夫参議院議員



疎水フォーラム in 常西用水2023

日時:令和5年10月30日(月) 午後1時00分～

場所:富山国際会議場

疎水の機能を広く国民に周知し、将来に引き継いでいくことができるよう、情報交換、情報発信等を行うことを目的として、今年で13回目となる疎水フォーラムが富山県にて開催され、全国から約740名が参集されました。

基調講演では、「疎水をとりまく情勢について」と題し、農林水産省農村振興局整備部水資源課長の瀧川拓哉氏が講演され、「都市化が進む地域における農業用水の維持管理について」と題し、水土里ネット天狗岩 事務局長 磯田靖氏の講演、「常西用水の維持管理活動」と題し、水土里ネット常西用水 事務局長 水谷英二氏から活動報告が発表されました。



ため池フォーラム in とっとり

日時:令和5年11月9日(木) 午後2時00分～

場所:とりぎん文化会館

ため池の多面的機能の理解を深め、今後のため池の保全活動や地域活性化につなげることを目的として、「豊かな農村 ささえるため池」をテーマに「ため池フォーラム in とっとり」が開催されました。

基調講演では、「鳥取県のため池に関する調査研究の取り組み～産官学の連携を通して～」と題し、鳥取大学農学部 教授の清水克之氏が講演され、事例発表では、鳥取県、水土里ネット鳥取、鳥取県内の改良区である天神野土地改良区、久米ヶ原土地改良区から活動事例が発表されました。



土地改良区複式簿記導入巡回指導

平成31年4月1日に土地改良法が改正され、原則として土地改良施設を管理する全ての土地改良区において、令和4年度から決算関係書類として、貸借対照表の作成及び公表が義務づけられました。このことを踏まえて、本会では昨年度に引き続き「土地改良区体制強化事業」により土地改良区における複式簿記会計の円滑な導入を推進するため、土地改良区に出向き「巡回指導」を実施していくこととしています。巡回指導の実施にあたり、関係機関の皆様方には、ご理解とご協力をお願いいたします。



雷山大溜池土地改良区



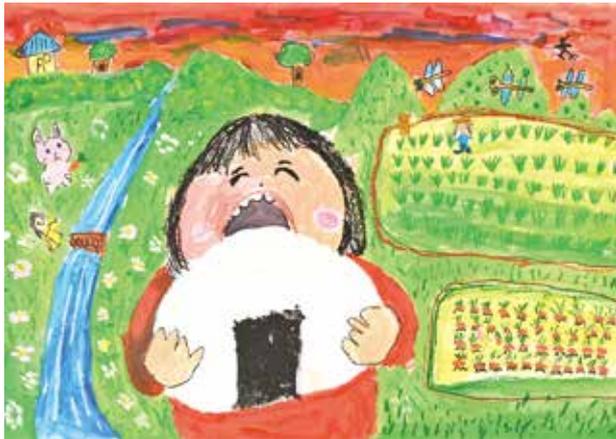
八女地区土地改良区

★2023年度★
未来へつなごう!
ふるさとの
水土里子ども絵画展

「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展」に福岡県内から多数のご応募をいただきありがとうございました。

全国からの応募総数3,021点から選ばれた福岡県内の作品をご紹介します。

【協賛企業・団体賞 クボタ賞】



「おにぎりがだいすき」
 福岡市 5歳

【水土里ネット福岡 会長賞】



「伝統のお田植舞」
 福岡市 小学6年生

受賞作品は12月に東京都美術館に
 展示されました。

どの作品も児童の皆様の思いが伝わる
 素晴らしい作品でした。

【入 選】



「もどってきた三れんすいしゃ」
 福岡市 小学2年生



「ゆたかな世界」
 那珂川市 小学5年生



「あ〜ん、パク!」
 福岡市 小学6年生



「岩戸神楽」
 那珂川市 小学4年生



福岡県ため池管理保全支援センター～取組状況～



福岡県ため池管理保全支援センターは、民間の農業用ため池管理者に対し、日常管理における助言・現場技術指導、現地パトロール(管理状況調査)、普及啓発などを行い、ため池管理の質を高め、適切管理の促進と整備の加速化を図ることを目的とし、令和2年4月に開設されました。

ため池管理研修会

民間の管理者を対象に、普及啓発を図るための研修会を行いました。
ため池の管理や点検・補修の方法、また、緊急時の対応方法など、状況に応じた適切な管理方法を講義しております。
当研修は今後も計画しており、様々な地域での普及啓発活動を行っていく予定です。



福岡県 農村森林整備課
城川技術主査による講義



福岡県ため池管理保全支援センター
西本技師補による講義



福岡県 農村森林整備課
宗主任技師による講義

ため池設計工事研修会

農業用ため池の整備を推進するため従事される行政職員の方を対象に、知見の習得と技術力向上を図ることを目的とした研修会を開催しました。
ため池施工に必要な基礎知識を中心に、設計や工事に関する技術的な講義を行っております。今年度は講義の他、水位計・監視カメラ業者13社による個別相談会やため池の施工現場にて現地研修会を行いました。
当研修は今後も計画しており、ため池施工における様々な技術を発信していく予定です。



研修会の様子



福岡県 農村森林整備課
城川技術主査による講義



福岡県ため池管理保全支援センター
西本技師補による講義



宇美町 都市整備課
阿賀主査による講義



水位計・監視カメラ個別相談会の様子



現地研修の様子

福岡県ため池管理保全支援センターのご案内

福岡県ため池管理保全支援センターは、ため池管理者様の疑問等にお答えする相談窓口を設置し、専門技術者による助言や現場技術指導を行っております。

また、ホームページも開設しており、「ため池点検マニュアル」「簡易版見回りチェックシート」に加え、「各種研修会の動画」も配信しております。

今後も、ため池に関する様々な情報を公開していきますので、是非ご覧ください。



**福岡県
ため池管理保全支援センター**

～ため池を管理する皆さんの疑問や相談にお応えします～

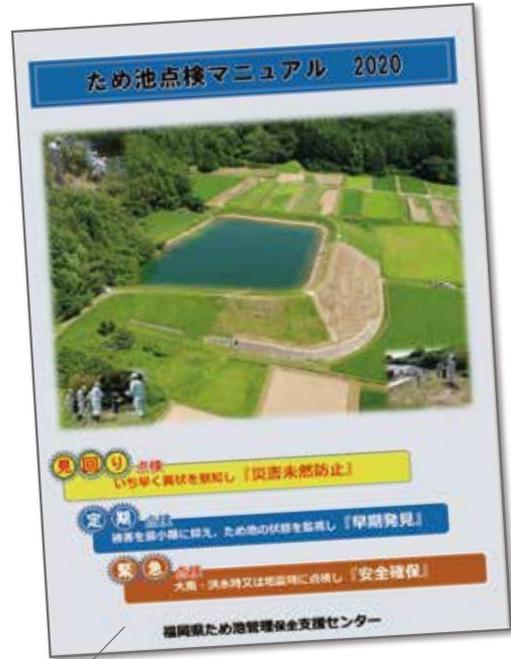
助言・現場技術指導 現地パトロール 普及啓発

ため池管理者の方の相談窓口

毎週 月・水 曜日
 < 祝日、休日、年末年始は除く >
 (午前) 9:00 ~ 12:00 (午後) 1:00 ~ 4:00
☎ (092) 642-1590

- ◆ ご相談にお越しの際には、事前に電話で予約をお願いします。
- ◆ 電話でのご相談の際には、
 - ① ため池の所在地
 - ② ため池の名称
 - ③ ため池コード をお知らせください。
 (ため池コードは市町村にお問い合わせください)
- ◆ ため池管理者以外の方は市町村担当窓口へお問い合わせください。

福岡県ため池管理保全支援センター
 (福岡県土地改良事業団体連合会)



ため池点検マニュアル



簡易版見回りチェックシート

「ため池研修動画」YouTubeにて配信中!!



福岡県ため池管理保全支援センター

検索



福岡県ため池管理保全支援センター
 Reservoir maintenance support center FUKUOKA





土地改良農業用施設賠償責任保険のご案内

～いざ、という時のお守りとして保険に加入できます～

◆この保険の主旨

この保険は、農業用排水路、道路、溜池、頭首工の所有者である市町村、土地改良区等が、所有、使用または管理する施設・設備に起因して生じた偶然な事故、または、業務の遂行によって生じた偶然な事故により、第三者に身体障害や財物損壊を与えた場合に、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を保険金としてお支払いします。

- 保険期間／1年間
- 契約者／福岡県土地改良事業団体連合会
- 加入対象者(被保険者)／福岡県土地改良事業団体連合会の会員の皆様

※加入申込書にご記名・ご捺印のうえ、用排水路、道路、溜池、頭首工の明細書及び位置図(保険加入対象部分を朱書)を添えてお申し込みください。
また保険料につきましては、お申し込み時にお支払いください。

◆保険料及び保険金額のご説明

保険期間1年				
保険の目的	用排水路	道 路	溜 池	頭 首 工
保険料	1kmあたり 1,500円	1kmあたり 1,000円	周囲1kmあたり 3,200円	1箇所あたり 2,000円
補償内容	保険金額(お支払い限度額)		免責金額(自己負担額)	
身体賠償 (人身事故の場合)	1名……………1億円 1事故……………3億円		無し	
財物賠償 (物損事故の場合)	1事故…1,000万円		無し	

※保険の目的ごとに算出した保険料の10円未満は四捨五入します。
※会員様ごとの最低保険料(保険の目的ごとに算出した保険料の合計額)は10,000円となります。
※過去5年以内に保険請求された会員は別途保険料を提示いたします。

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



土地改良施設管理活動中の傷害保険のご案内

◆補償される事故

土地改良区等の施設管理活動作業に従事する人が、職務に従事している間(職務遂行場所への通勤途上を含みます。)に偶然な事故によりケガをされた場合、保険金の請求ができます。

保険料(令和5年4月現在の一例)

[被保険者明細を省略・20名未満の場合]

プラン	死亡・後遺障害	入院日額	通院日額	保険期間	1人あたりの保険料
A-6	300万円	3,000円	1,000円	6ヶ月	4,370円
A-12	300万円	3,000円	1,000円	12ヶ月	8,740円
B-6	500万円	4,000円	2,000円	6ヶ月	7,440円
B-12	500万円	4,000円	2,000円	12ヶ月	14,890円

お問い合わせ 総務部 総務課(本部) TEL 092-642-1881



非補助農業基盤整備資金のご案内

土地改良区等が国からの補助を受けずに、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、(株)日本政策金融公庫等が、農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対して低利で融資する資金です。

なお、国の補助対象でない県または市町村単独による補助事業についても融資の対象となります。

- 貸付限度額 複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。(ただし、融資は1件当たりの最低額は50万円となっています。)

なお、農業集落排水事業では、一部施設ごとに限度額を設定しています。
- 貸付金利 (固定金利)非補助一般 融資期間にかかわらず 1.10% (12月18日現在)
- 償還期限 最長25年間(据置期間10年以内を含む)になっており、事業内容に応じて設定できます。

ご相談・
お問い合わせ

- 県農林事務所(農村整備第一課)
- 市町村役場
- 農業協同組合
- 福岡県信用農業協同組合連合会(融資営業部) TEL 092-711-3561
- (株)日本政策金融公庫 福岡支店(融資第二課) TEL 092-451-1780
- 福岡県土地改良事業団体連合会(農村整備1課) TEL 092-642-1890



土地改良事業に関する助言及び指導

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての助言・指導を行っています。

1. 土地改良事業に関する苦情、紛争への対応
2. 土地改良事業計画の作成、工事実施に関する指導
3. 事業主体の組織運営上の指導
4. 土地改良施設の管理に関する指導
5. 農業水利に関する指導
6. 土地改良法令に関する指導
7. 換地処分その他農用地集団化に関する指導
8. その他

定期相談日

毎月1回(第3水曜日)開設しています。(祝日の場合はその翌日)
緊急の場合は、開設日以外でも随時行っています。

窓 口

- 総務課(本部) TEL 092-642-1881
- 農村整備1課(本部) TEL 092-642-1890
- 農村整備2課(北部事務所) TEL 0930-22-3655
- 農村整備3課(南部事務所) TEL 0942-53-2294



財務管理強化相談等のご案内

本会では、土地改良区等に対して以下のような事案についての相談窓口を設置しています。

1. 複式簿記会計の有効活用
2. 指導監査の導入
3. 非補助土地改良事業の推進活動
4. その他の会計経理の課題

ご相談・
お問い合わせ

総務部 総務課 経理係(本部) TEL 092-642-1884



ふさの国から
飛び立て
水土里の恵み

力強く
未来に繋ごう
水土里の礎

第46回全国土地改良大会 千葉大会

幕張メッセ 2024 10.22 火
幕張イベントホール

 全国土地改良事業団体連合会
千葉県土地改良事業団体連合会

文化が集まる、未来が集まる。
 幕張メッセ
Makuhari Messe

制作協力：千葉デザイナー学院 制作：編集 倉田

福岡県土地改良事業団体連合会

新しい農業・農村の環境づくりを支援し、都市と農村の共生を目指します。

水土里ネット福岡
ホームページへのアクセス
携帯はこちらから



〈九州ロゴマーク〉
九州・山口各県と経済界で定めた「九州」のマークです



本 部 〒812-0044 福岡市博多区千代4丁目4番28号
TEL 092-642-1881 FAX 092-642-1886
<http://mnf21.com>

農村整備2課 〒824-0005 行橋市中央1丁目8番7号
(北部事務所) TEL 0930-22-3655 FAX 0930-22-3282
E-mail:hokubu@mnf21.com

農村整備3課 〒833-0041 筑後市大字和泉 640番1
(南部事務所) TEL 0942-53-2294 FAX 0942-53-2742
E-mail:nambu@mnf21.com